

# 株式会社 北洋銀行

## 地域密着型金融の取り組み状況について

---

# 目 次

1. 北洋銀行の地域密着型金融	1
2. 平成26年度における主な取り組み	2
3. 平成26年度における取り組み実績	3
4. 地域の面的再生への積極的な参画	
(1) 地方創生への取り組み	4
(2) 具体的事例	5
5. ライフステージに応じたサポート	
(1) 新規・創業	6
(2) 成長分野	
【農業・食品産業】	7
【観光振興】	8
【ものづくり産業】	9
【海外ビジネス】	10
【医療・福祉】	11
(3) 事業承継・M&A支援	12

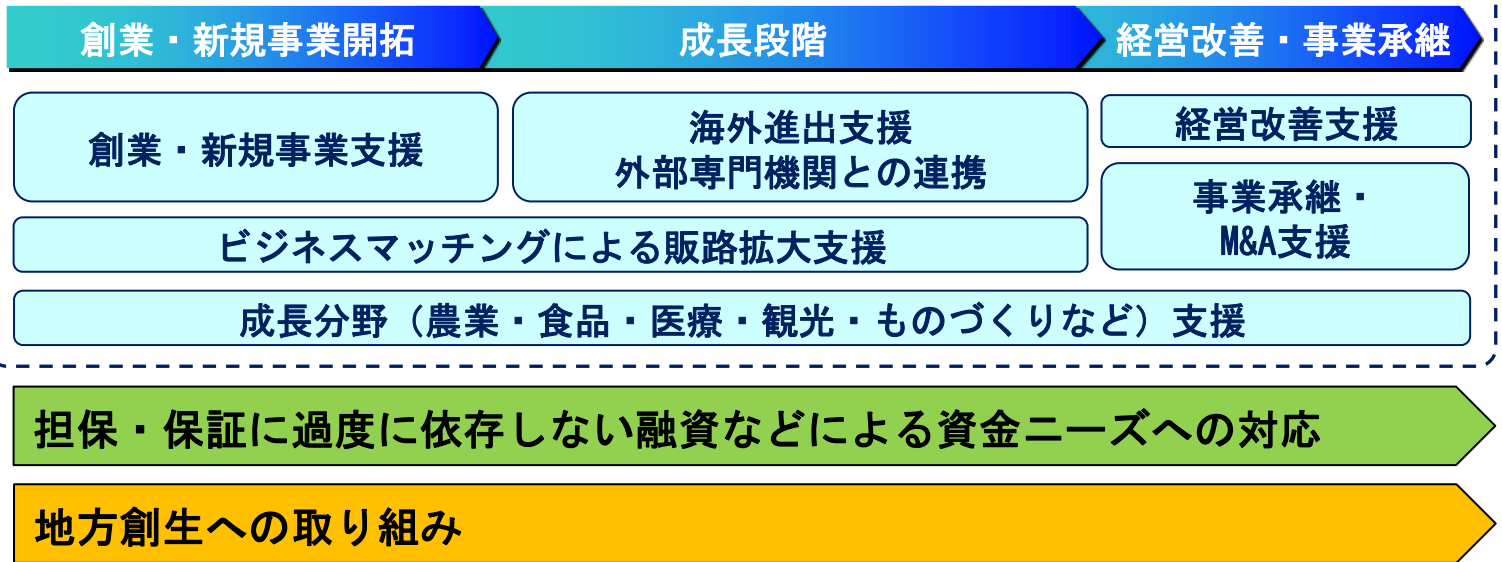
# 1. 北洋銀行の地域密着型金融

■ 当行は、地域経済の発展・活性化のために、地域の皆さまの事業拡大や経営改善等を通じた経済活動の活性化サポートを行い、その結果、さらなる資金需要が発生するという好循環のサイクルの構築に向け、以下の3点を基本とする「地域密着型金融」に取り組んでおります。

- お客さまのライフステージに応じたサービスをご提供すること
- 担保・保証に過度に依存しない融資などにより、お客さまの資金ニーズに的確にお応えすること
- 「地方創生」への取り組みなどにより、持続可能な地域経済の発展に貢献すること

## 【北洋銀行の地域密着型金融全体像】

ライフステージに応じたサービスのご提供



自治体・外部機関・  
外部専門家等と連携

北海道経済の発展・活性化

## 2. 平成26年度における主な取り組み

- 当行は、「インフォメーションバザール」などの商談会の実施、各種ビジネスセミナーの開催など、お客さまのビジネス支援に向けた幅広い取り組みを行っております。
- 平成26年度においては、新たな農業ファンド組成や地方創生への積極的な参画など、お客さまの成長分野支援と地域の面的再生支援に積極的に取り組みました。

大田区産業振興協会と連携協定を締結 (H26/7)



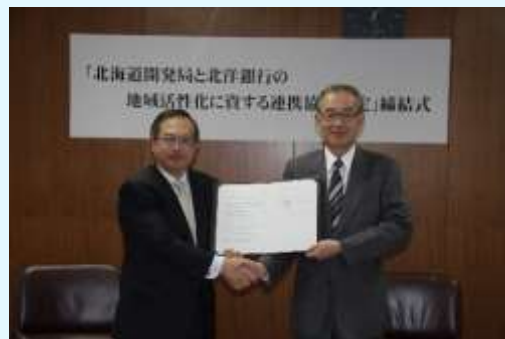
「インフォメーションバザール in Tokyo」の開催 (H26/9)



女性ビジネスセミナー開催 (H26/7)



北海道開発局と連携協定を締結 (H26/11)



大通BISSEマルシェ (若手農業者による情報発信の取り組み) 開催 (H26/9)



「北洋銀行ドリーム基金」平成26年度助成金の贈呈 (H27/3)



### 3. 平成26年度における取り組み実績

- 経営改善支援等の取り組みに係る計画については、5項目全体で2,471先に対しての取り組み実績となり、前年度実績を420先上回りました。
- 経営改善計画の策定支援や、本業支援に向けたビジネスマッチング支援等の「経営相談・支援強化」、外部提携先を活用した「事業承継支援」、中小企業向け私募債を中心とした「担保・保証に過度に依存しない貸出」に取り組んだことから前年度を大きく上回る実績となりました。

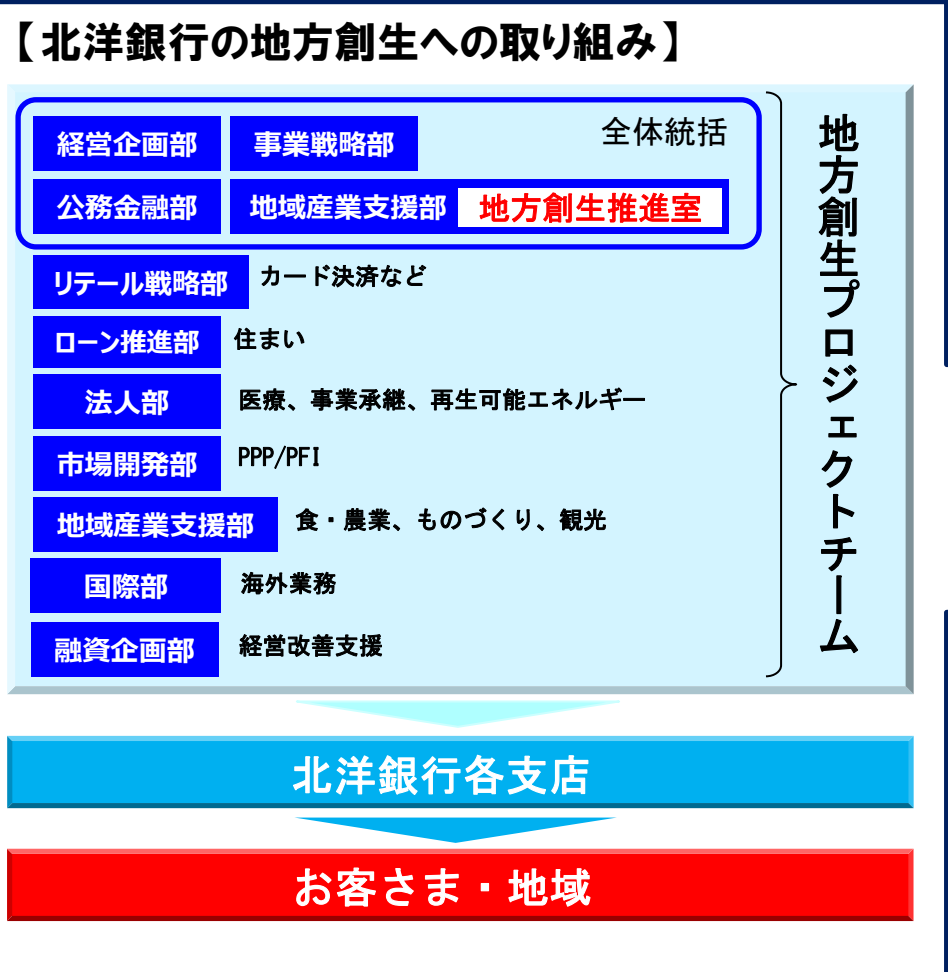
#### 平成26年度の取り組み実績

(単位：先)

経営改善支援等の取り組み項目	前年度	26年度	前年度対比
1 創業・新事業開拓支援	408	400	△8
2 経営相談・支援強化	867	1,124	257
3 早期事業再生	27	60	33
4 事業承継支援	398	491	93
5 担保・保証に過度に依存しない貸出	351	396	45
合 計	2,051	2,471	420

# 4. 地域の面的再生への積極的な参画 ～ (1) 地方創生への取り組み

- 地域の面的再生支援の一環として、地方創生に積極的に取り組んでおります。
- 「地方創生推進室」をはじめとした各本部、営業店が一体となり、当行が蓄積した各種ソリューション機能を発揮し、地域活性化に向けたサポートをおこなっております。



## 4. 地域の面的再生への積極的な参画 ～ (2) 具体的事例

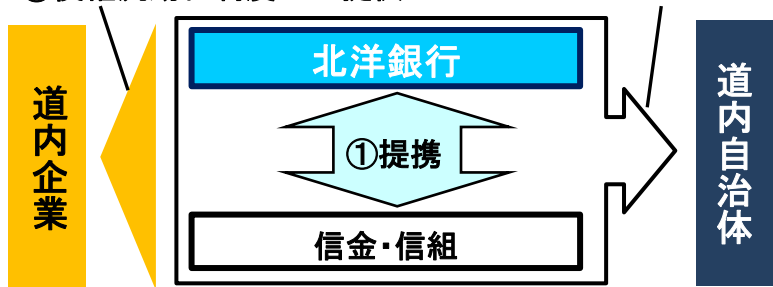
- 道内の各自治体に対し積極的な連携協定を実施するとともに、PPP/PFIをはじめとする多様な資金調達方法の提案など、資金需要の掘り起こしに取り組んでおります。また、債権や農水産物などの動産を担保とするABL (Asset Based Lending) や債権流動化※など、担保・保証に過度に依存しない貸出を強化しております。
- 平成28年3月に予定されている新青森・新函館北斗間の北海道新幹線開業に向け、青森・函館エリアを基軸とした両地域の産業振興への取り組みを一層強化するため、「青函産業振興室」を中心に、食と観光を組み合わせた各種サポートを行っております。

### 【担保・保証に過度に依存しない貸出の強化】～地元信金・信組とも連携

- 道内の信金・信組と提携し、各自治体へ債権流動化制度導入の働きかけを積極的に行っております。(平成27年7月末では、12信金、1信組と提携、6市町で制度導入)
- 自治体の債権流動化制度導入により、当行のお客さまに加え、信金、信組のお取引先にも新たな資金調達の選択肢が生まれます。
- また、信金・信組との関係強化により、当行・信金・信組が協調した地域活性化への取り組みも可能となります。

③債権流動化制度のご提供

②当行と信金・信組が連携し、自治体と交渉



### 【青函活性化ファンド】

- 青函活性化ファンドは、青函地域の活性化を目的に、青函官民連携ファンドとして、平成26年5月に北洋銀行、青森銀行、地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社であるREVICキャピタル、北洋キャピタルと、総額2億円で設立しました。
- 同月に第1号案件として、函館の食品会社に5千万円の出資を実行しております。この出資は地域活性化ファンド案件としては全国第1号であり、青森産のりんごを利用したロールケーキの販路拡大のための設備資金等に充当されております。



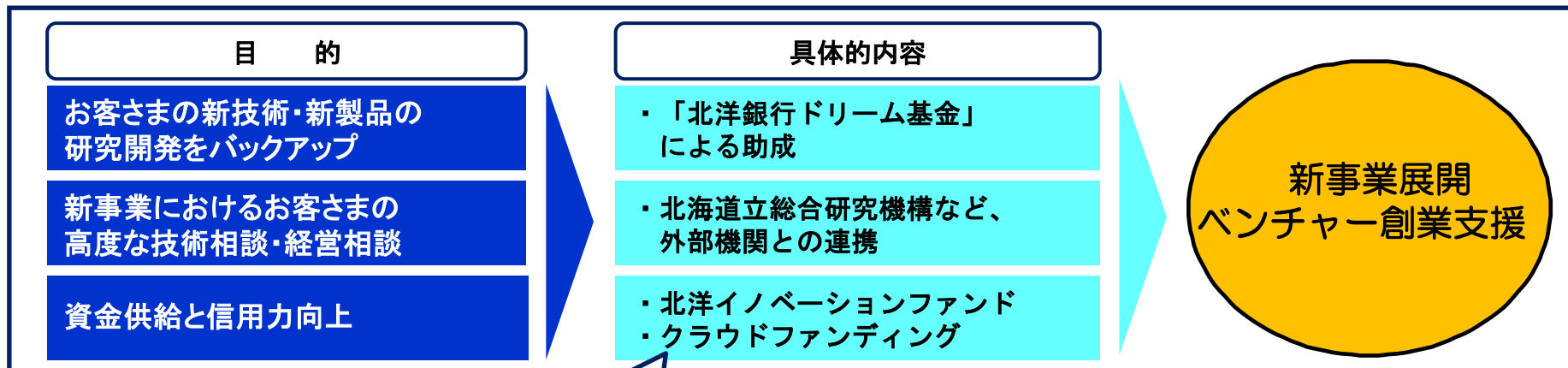
青森産のりんごを利用したロールケーキ

※債権流動化とは、お客さまが保有している売上債権を金融機関等が買い取ることで、早期資金化と財務改善(オフバランス)ニーズを同時に満たすことができる資金調達の手法です。



## 5. ライフステージに応じたサポート～（1）新規・創業

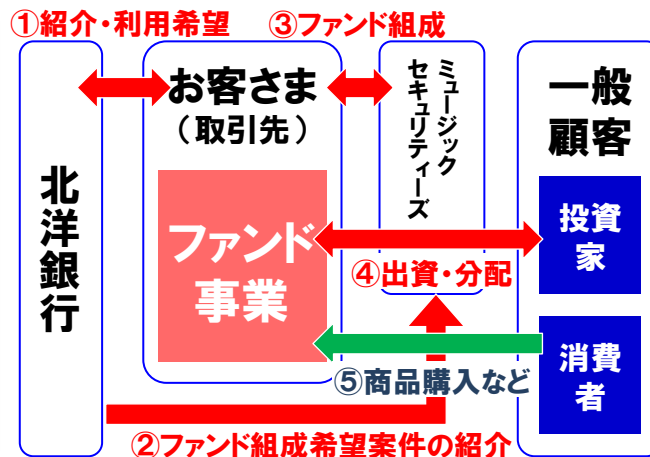
■ 地域経済の活性化のためには、地域における中小企業の創業や新分野への進出が不可欠です。外部提携先との連携、ファンドなど各種支援の活用により、今後成長が期待できる新事業の展開やベンチャー創業を積極的に支援しております。



### 【クラウドファンディング】

～スキーム図～

○平成26年3月に道内金融機関で初めて、ミュージックセキュリティーズ株式会社と業務提携を行いました。  
○同社が運営するマイクロ投資(クラウドファンディングの一形態)による新たな資金調達や販路開拓の仕組みをお客さまに紹介し、事業の成長をバックアップしております。平成26年度は8件の実績となりました。

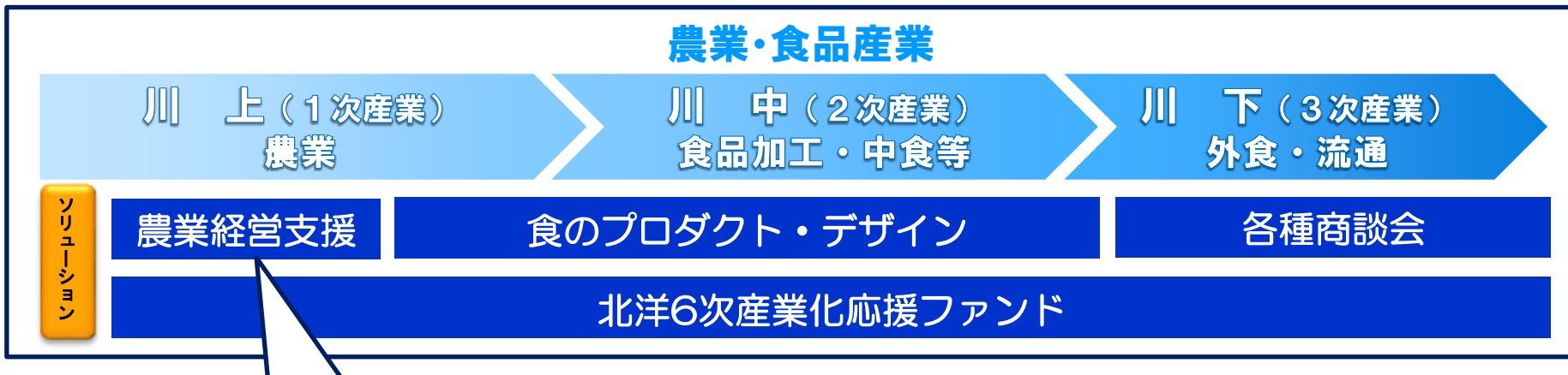


クラウドファンディングでモッツアレラチーズを製造（第3号投資案件）



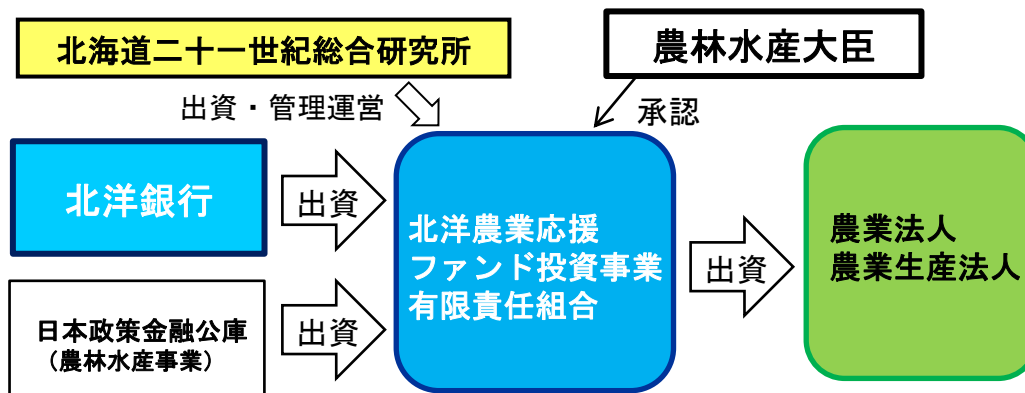
## 5. ライフステージに応じたサポート～（2）成長分野【農業・食品産業】

■ 農業・食品分野は、「食」の北海道ブランドを背景に、今後も成長が期待できる分野であると同時に、北海道の基幹産業の一つとなっております。  
その農業・食品産業の支援に向け、生産・加工・販売の各フェーズで最適なコンサルティング機能を発揮し、フードビジネスの育成・強化に取り組んでおります。



### 【北洋農業応援ファンド】

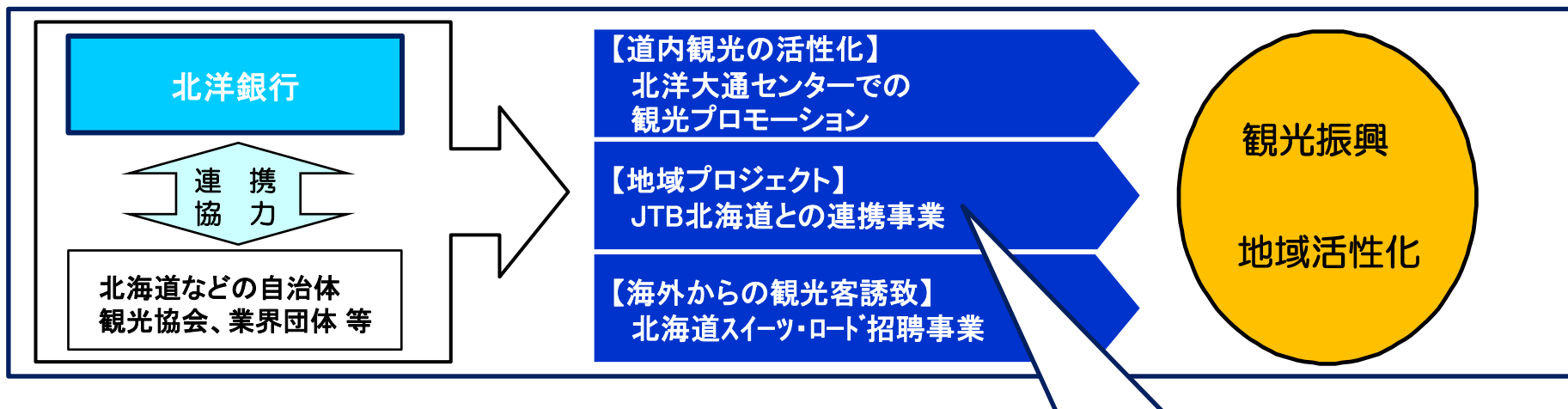
○平成26年10月、農業生産法人への資本的な資金支援を目的として「北洋農業応援ファンド」を設立しました。  
○平成27年3月には第1号出資先を決定、平成27年7月末では2件、15百万円の出資を実行しております。



道産野菜の野菜ジュースの開発費などに充当  
(第2号出資案件)

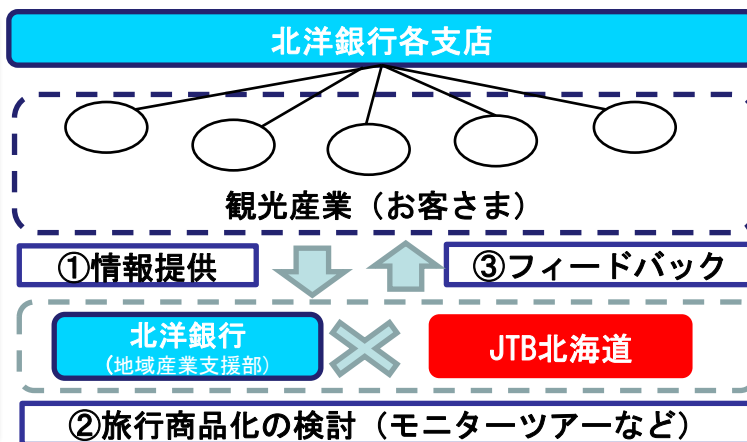
## 5. ライフステージに応じたサポート～（2）成長分野【観光振興】

■観光は、北海道が国内外に優位性を持つ分野です。地域経済の活性化や雇用機会の創出を促す新たな経済成長施策として、様々な産業への経済波及効果が期待されているため、観光に携わる機関・団体・企業とも連携し、サポートを実施しております。



### 【地域プロジェクト(平成25年度より実施)】

○官民連携により、地域の観光素材発掘から旅行商品化を通じて、地域経済の活性化を目指す取り組みです。  
○モニターツアーや、観光・産業振興フォーラムによる情報発信などを実施しております。



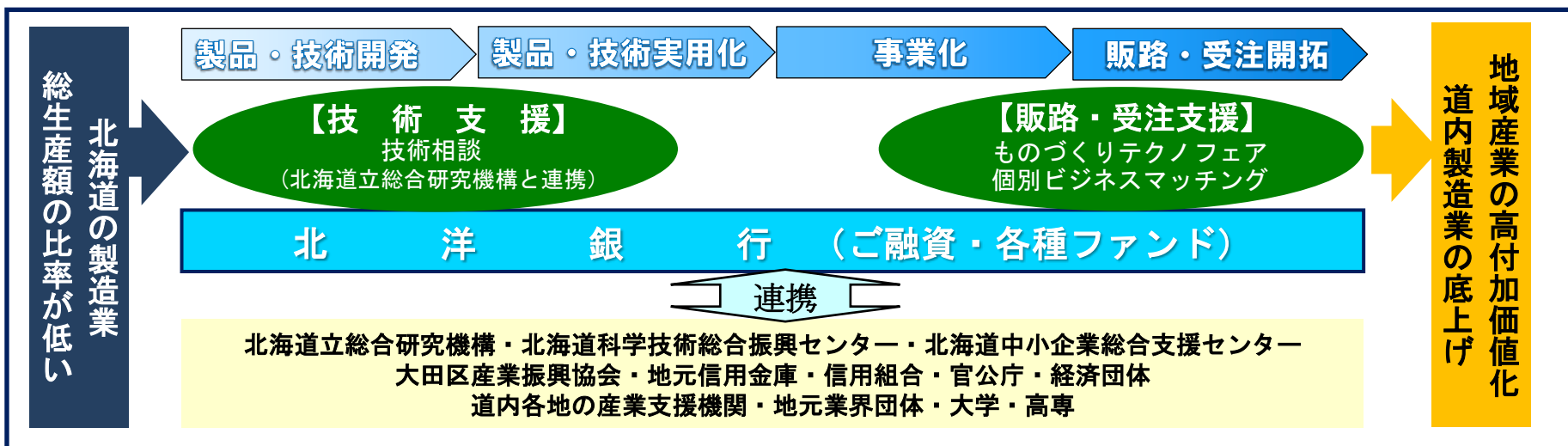
④セミナー等を通じた情報発信



モニターツアーの様子  
(胆振・日高エリア)

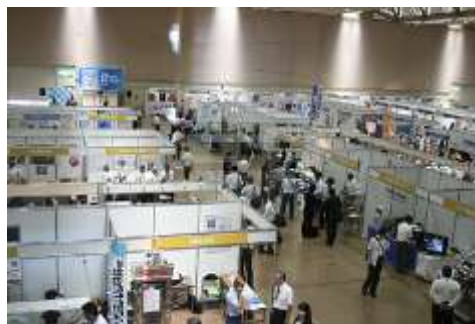
## 5. ライフステージに応じたサポート～（2）成長分野【ものづくり産業】

■北海道は、製造業のウェートが他地域と比較して小さいため、道内経済の活性化のためには、ものづくり企業を中心に、従来の枠組みにとらわれない手法を用いて、持続的にサポートしていくことが重要と考えております。このため、ビジネスマッチングによる販路拡大支援のほか、新たなファンドの組成、外部機関との連携などにより、特色ある企業の発掘・育成に取り組んでおります。



### 【ものづくりテクノフェア】

○ものづくり企業を中心とした商談会「ものづくりテクノフェア」を毎年開催しております。平成26度は出展企業196社、来場者約4,300名を迎え、いずれも過去最大となりました。



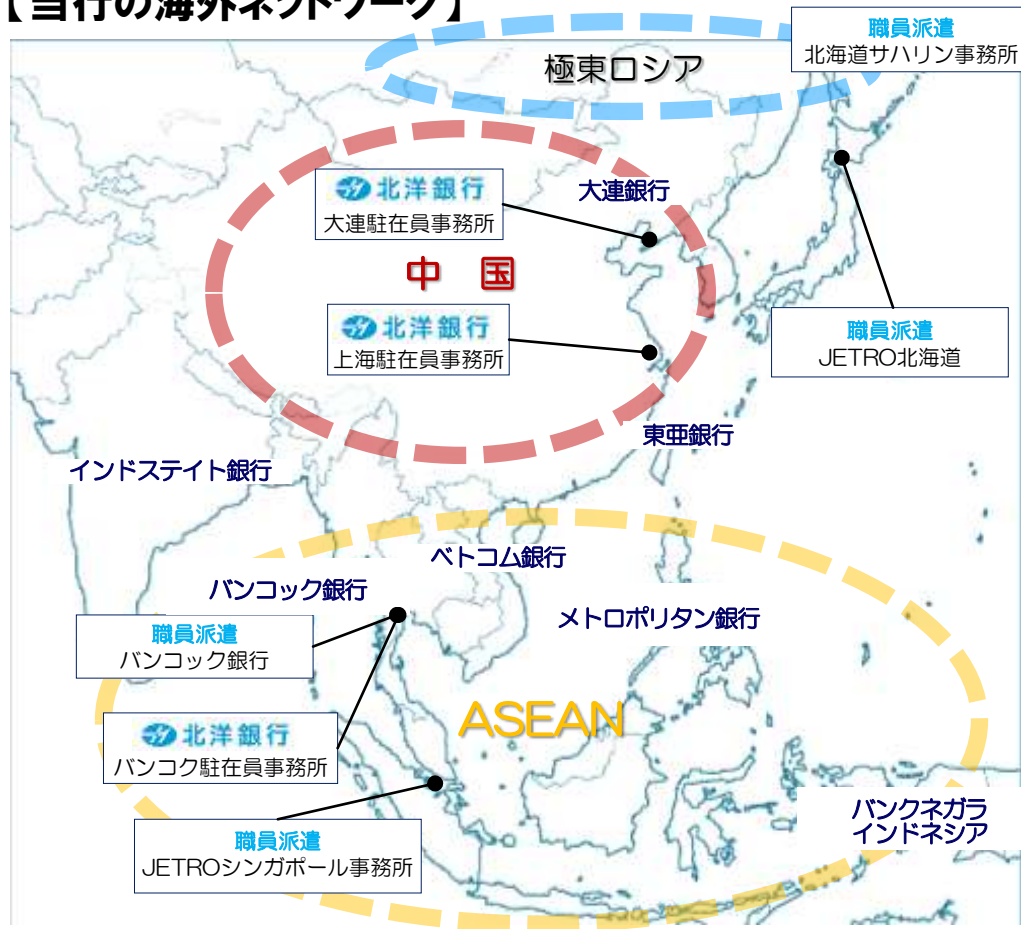
### 【イノベーションファンド】

○原則、無議決権の種類株式を活用し、発行株数の5%超の株式取得を可能としているほか、株式公開を目的としないお客さまも対象として、株式引受による支援を目指しております。  
○平成26年度においては、7社に対して130百万円、平成27年7月末までの累計は22社、405百万円の出資を行っております。

## 5. ライフステージに応じたサポート～（2）成長分野【海外ビジネス】

■道内企業の関心が高い、アジアへの進出や販路拡大のため、海外拠点・提携金融機関等の海外ネットワークを活用し、外国送金や輸出入取引、為替リスクのヘッジ、海外販路の開拓、現地視察のサポート、海外の提携金融機関のご案内など、お客さまの海外ビジネスの各段階に応じたサポートを提供しております。

### 【当行の海外ネットワーク】



※青字は海外提携銀行（全7行）  
その他は当行拠点、派遣先（全7カ所）

### 【海外商談会】

○平成27年2月にタイのバンコクにおいて、「北海道食品商談会inバンコク」を開催いたしました。  
○札幌信金や苫小牧信金、帯広信金のお取引先を合わせ19社（協力団体と共催で33社）が参加し、道内食品関連企業を集めた海外商談会では最大規模となっております。

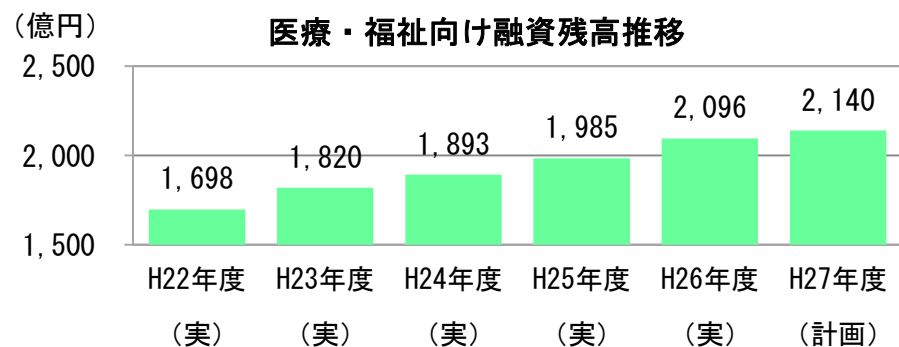
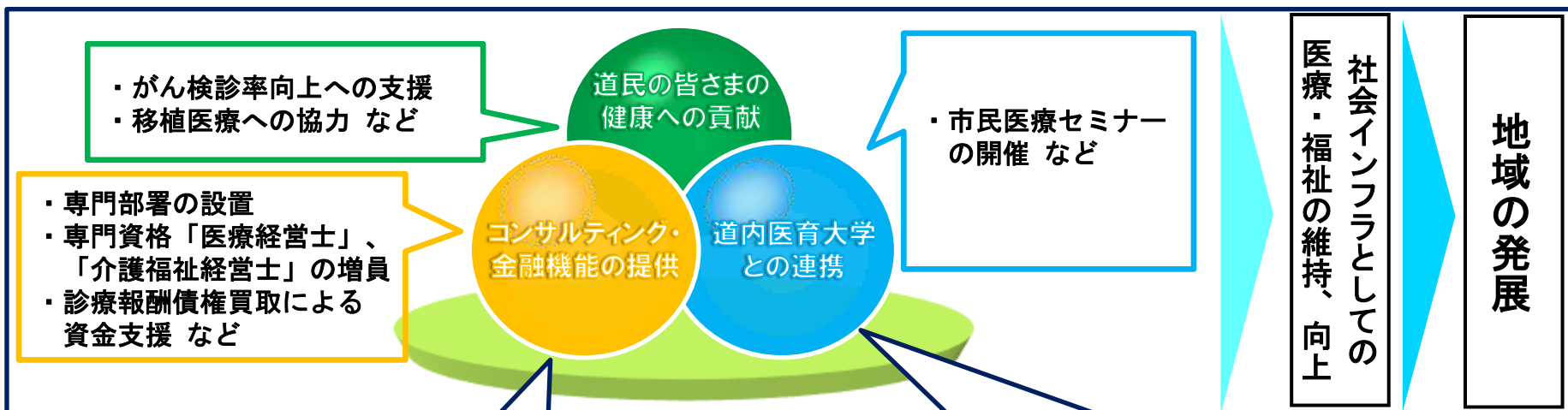


北海道食品商談会（タイ・バンコク）



## 5. ライフステージに応じたサポート～（2）成長分野【医療・福祉】

- 高齢化社会の進展に伴い、病院、介護施設などの設備投資の資金需要が増加しております。また、社会保障制度の改正が続き、情報提供やコンサルティングのニーズも高まっております。
- 設備投資などの資金需要に対して積極的に対応するとともに、コンサルティングなどを通じた、お客さまへの支援を強化しております。また、地域医療への貢献や、産学が手を組み互いに発展することを目的として、道内の医育大学と包括連携協定を締結し、市民医療セミナーの開催などに取り組んでおります。



○平成26年度は8回の市民医療セミナーを開催し、累計約800名の道民の皆さまに参加いただきました。



市民医療セミナー

■ 経営者の高齢化などを背景に、事業承継支援のニーズが高まっております。当行では、法人部内に事業承継・M&Aの専担チームを設置しているほか、高度な専門性と承継ノウハウを有する監査法人など12先と連携し、株式移転のタイミングやその方法などのご提案や、事業承継の必要性、M&Aをテーマとしたセミナーを開催するなど、各種の事業承継・M&A支援を展開しております。

### 【当行の事業承継支援の流れ】

#### STEP 1

#### 現状分析と課題の整理

- 社長、オーナーを中心とした経営者層にインタビューをすることにより、事業承継スキームの選択に有用な情報を把握します。
- 必要に応じて、株価の評価、事業用資産の評価等を実施します。

#### STEP 2

#### シミュレーションの実施

- インタビュー結果をもとに、事業承継スキームのシミュレーションを実施します。
- 具体的には、各シミュレーションのメリット・デメリットを説明し、方向性を固めていきます。
- 必要に応じて、顧問税理士等との専門家とも意見交換し、調整を図ります。

#### STEP 3

#### 実行支援

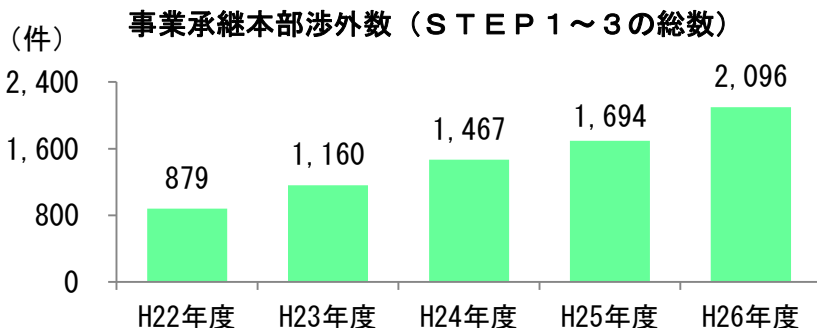
選択したスキームを実現するための支援を行います。

M&A

株式移転

組織再編

遺言信託



○ 平成26年度は35回の事業承継・M&Aセミナーを開催しております。



事業承継セミナー